

# 聖地巡礼の代用例紹介

公德会75周年 八代市で講演会

一般財団法人熊本公德会の設立75周年記念講演会が19日、八代市のやつしろハーモニーホールであり、崇城大芸術学部の関根浩子教授(54)が、聖地巡礼を代用する宗教施設の芸



関根浩子教授

ける代用例として、富士山信仰の富士塚などを紹介。欧州の例として、エルサレム巡礼を代用するイタリアの宗教施設サクロ・モンテ、聖母マリアが出現したというルルド(フランス)の聖洞窟を再現した各地の模型などを説明した。

術性について語った。関根教授はイタリアの美術・文化史などが専門。「世界遺産サクロ・モンテに見る聖地への憧れ」と題して講演し、約80人が聞いた。聖地巡礼の日本にお

関根教授は「代用施設は美術作品として紹介されてこなかったが、いずれも歴史のうねりや民衆の切なる真実の声を率直に語っている。コピーだからといって芸術の粋から疎外すべきものではない」と強調した。

(福田寿生)